

# 蜂谷戸防災かわら版

第9号

自分の命は自分で守ろう！

「近助」と「自守防災」！

平成26年9月3日

小川自治会

蜂谷戸支隊

情報・広報班

今月号は、防災豆知識で“マグニチュードと震度”を、防災ノウハウのコーナーで“火事を消す備え”を採り上げました。

## 自主防災隊の活動実績・計画

### <自主防災隊全体の活動>

10月 4日「全体防災訓練」13時30分開始予定(蜂谷戸公園)。皆さんの積極的な参加をお願いします。

### <蜂谷戸支隊の活動>

9月21日「スタンドパイプ放水訓練」午後2時開始予定。詳細は決まり次第お知らせします。

10月 4日「旗出し訓練」、「救護避難訓練」。全体防災訓練に先駆け午前中に実施予定。詳細は別途連絡。

## ご存知ですか？…防災豆知識

### <マグニチュードと震度>

#### 1. マグニチュードと震度の違い

- ・「マグニチュード」は地震そのもののエネルギーの大きさを示すのに対して、「震度」は、それぞれの場所における揺れ方の大きさを示します。
- ・マグニチュードが同じ地震でも、震源が遠ければ震度は小さく、近ければ震度は大きくなります。
- ・日本における最大のマグニチュードは、東日本大震災の9.0でした。阪神大震災は7.3です。いずれも、最大震度は7でした。
- ・震度は0～7まで10段階に分かれています。

#### 2. 震度別揺れ方

- ・震度5強と6弱の揺れ方を次に例示します。
- ・小川自主防災隊が対策本部を立ち上げる“非常時”の基準は震度5強以上です。
- ・東日本大震災の時の町田の震度は5弱でした。

#### <震度5強の揺れ方>

- ・多くの人が行動に支障を感じる
- ・棚の食器や本が落ちる
- ・テレビが台から落ちる
- ・固定していない家具が倒れることがある
- ・補強されていないブロック塀の多くが倒れる

#### <震度6弱の揺れ方>

- ・立っていることが困難になる
- ・固定していない家具の殆どが移動し倒れる
- ・ドアが開かなくなる
- ・多くの家で、窓ガラスが割れ壁が剥がれ落ちる
- ・耐震性の低い建物は倒壊するものがある

## 耳より！…役に立つ防災ノウハウ

### <火事を消す備え>

#### 1. 万一火災が発生した時の行動

- ①大声で「火事だ！」と知らせる
- ②消火器や水で小さな火の内に消す(初期消火)  
<消火器の使い方>
  - ・消火器を火元近く迄運び、安全栓を上引き抜く
  - ・ホースをはずし火元に向ける
  - ・レバーを強く握る
  - ・ホースは炎や煙ではなく火元に向け、箒で掃くように左右にかける。
  - ・消火液が出る時間はほんの数十秒です。
- ③家庭用の消火器で消せるのは、火が天井に燃え移るまでで、火がついてから約3分以内です。  
火が天井に燃え移ったら避難し他の人の助けを求めましょう。⇒**命が大切！絶対無理をしない！**
- ④エアゾール式等で油の火事に使えない消火器があるので確認しておく。
- ④火事で炎より怖いのは煙です。姿勢を低くし、濡れタオルを口に当てて避難します。

#### 2. 普段からの“火を消す”備え

- ①家庭用消火器をできれば2台用意し、別の場所に設置する。(火元や状況によって使い分ける)
- ②消火器は操作に慣れていないとイザという時使えないので、自治会の防災訓練等で操作してみる。
- ③消火器の耐用年数は8～10年です。使用期限をチェックし期限が過ぎたものは更新して下さい。
- ④お風呂の残り湯を溜めておく等の防火用水や消火用バケツ等も日頃から用意しておく。